

# 日本語訳

あなたはマララ・ユスフザイさんを知っていますか。彼女は、女権運動において、世界で最も有名な人物の一人かもしれません。最年少でノーベル平和賞を受賞し、女性の教育を受ける権利のために、熱心に活動しています。マララ基金を通して資金を集め、特に発展途上国における教育ネットワークの改善に努めています。

マララは、1997年にパキスタンで生まれました。父親は教師で女学校を営んでおり、マララもそこに通っていました。悲しいことに、2008年、彼女の住んでいた町は、タリバンに支配されてしまいました。少女たちは学校で学ぶことができなくなりました。タリバンを非難したことで、2012年マララはタリバンに襲撃されました。幸運にも命をとりとめた彼女は、襲撃から立ち直りそれ以来すべての人の教育を守るために闘ってきました。

2019年、東京で開催された国際女性会議での演説で、マララは聴衆に向けて次のように述べました。「あなたがたは、信頼してくれる人がいたから今ここにいるのです。父が私を信じてくれたように。あなたがたは与えられた機会をうまく活用し、自分の考えを伝えようと闘い、そして何より、教育を受けてきたからここにいるのです。」

残念ながら、多くの少女たちは学校に通えていません。マララはだれよりも、すべての人が無償で教育を受けることがいかに大切であるかを知っています。彼女はよく口にします。「私は一人の少女に過ぎず、多くの少女たちにも私と同じような物語があるのです」と。問いかけてみてください、彼女たちに機会があれば、どんな物語を書くだらうかと。